

令和8年度第1回北斗市総合戦略検討・推進会議 議事概要

日時：令和8年6月29日(月) 9:00~11:00

場所：北斗市総合文化センターかなで〜る2階 中会議室

◎司会進行 会長

1 開会

- 副市長より挨拶
- 事務局から会議趣旨の説明、新任委員及び欠席委員の報告
- 会長より挨拶

2 議事

(1)令和7年度第3期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

資料：「第3期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検討シート」

◆KPIや数値目標に追加して示す、北斗市の現在値(地)

○企画課長よりP28からP35までを説明。

○質疑・意見等

(委員)

- ・P34下段、常用雇用者数別事業所数の推移のコメントに常用雇用者「0人」とあるが、非常勤雇用者を雇っている事業所が大部分ということか。
- ・60歳以上で定年を迎えた後に起業をする方が増えてきているという報道を見た。また学生による起業も増えている現状がある。市では起業の状況を把握しているか。

(企画課長)

- ・非常勤雇用者を雇っている事業所や一人親方という事業所が含まれていると推測される。

(経済部長)

- ・起業数数は把握していない。令和2年から北斗市商店街等元気づくり事業を開始し、起業したい方を支援しており約20件の実績がある。起業後の継続性などが重要であることから制度を検証のうえ見直し、令和8年度からは北斗市チャレンジ支援事業として起業する方の支援をしている。

◆最重点基本目標①充実する子育て支援により出会い・結婚・妊娠・出産・育児のイメージを描ける「まち」をつくる

○総務部長よりP1、7の下線部を中心に説明

○民生部長よりP2、3、8、10の下線部を中心に説明

○企画課長よりP11を説明

○質疑・意見等

(委員)

- ・P11の「北斗市における子育て支援の満足度」で目標値を50.0%と設定しているが、残りの50%は何らかの不安、不満を持っていると言えるのではないか。

(民生部長)

- ・市ではできる限りの子育て支援をしていくが、満足度の感じ方には個人差がある。

(副市長)

- ・市では様々な子育て支援施策を行っているが、現在の子供を取り巻く環境や多様な世帯のそれぞれの事情があり、こども家庭センターにおいては様々な相談を受けている状況である。子育てにはお金がかかると不安を感じることもあって、50%には潜在的な不安というものが含まれていると認識している。

(委員)

- ・P11の「北斗市に提出された婚姻届数」のR7実績値が既に目標を上回っており素晴らしいと思った。この伸びた要因は何か。

(企画課長)

- ・婚姻届が伸びたのは北斗市だけでなく、全道、全国的な傾向である。コロナ禍が明けた安心感からではないかと考える。

○欠席した委員から預かった意見

(委員)

- ・P2の保育園等の給食費の助成について、幼稚園の給食費が上がる時期と助成を開始する時期が重なったこともあり、保護者の方が喜んでいた。

(委員)

- ・P1の男女混合イベントについて、市が関わることで参加者に安心感を与えることがメリットである。その信頼を維持するためにも、運営ルールや安全対策を整備し継続してほしい。
- ・P2の保育園等の給食費の無償化については、経済的負担の軽減につながる非常に良い施策と感じている。
- ・P7の子育てナビや母子モについて、子育て支援制度は充実しているが、情報が埋もれて必要な人へ十分に届いていない印象がある。制度を知ってほしい対象が子育て世帯や若い世代であるならば、その世代に届く発信方法を工夫する必要があるのではないか。

(民生部長)

- ・母子モについて、周知する情報を増やしているが、もっと活用され、登録者数が増えるような様々な場面でPRしていきたい。

◆最重点基本目標②北斗で働く人・働きたい人を応援するとともに北斗の特徴を活かし「しごと」をつくる

- 建設部長よりP12の下線部を中心に説明
- 経済部長よりP13、15、16、17、18、20の下線部を中心に説明
- 総務部長よりP19、4、5、6の下線部を中心に説明
- 企画課長よりP24を説明
- 質疑・意見等

(委員)

- ・ P14の求人情報掲載費用等助成事業について、求人者に選ばれる求人内容、ポイントなど工夫することで採用につながる。求人を周知するだけでなく、効果的な募集の仕方の認知に向けて、企業向けの求人セミナーを開催するなどの取組みを検討するのも良いと思う。
- ・ 大卒採用が難航したため高卒採用へ注力し、合同企業説明会への参加や地道な活動で採用に至ったという企業がある。しかし、建設・土木業界では中途採用であっても採用の成功事例が少ない。この課題を解決する案はあるだろうか。

(経済部長)

- ・ 高校生対象合同企業説明会に参加する企業を対象として、事前に求人に関するセミナーを開催し、募集の仕方などをお知らせし、求人活動へ役立ててもらっている。参加企業は喜んでいる。
- ・ 最近の企業は求人全般に係る調査・分析業務を外部へ委託するようになりつつある。情報発信だけの支援で良いのかということは十分に検討していかなければならない。
- ・ 市職員においても土木・建築の技術職の確保が難しい。企業や学生の意向などを把握し適した施策を行っていく必要がある。

(委員)

- ・ P15で農業、林業、漁業の新規参加者がいることは北斗市の強みである。これが継続すると「しごと」の確保という面に反映され人口減少対策につながる。

(会長)

- ・ 大学の授業で北斗市に携わった生徒が、昨日の新函館北斗駅で開催されたイベントへ行った。授業後も関わった北斗市に興味を持ち、イベントに参加するのは良いことである。
- ・ フィッシュリー、トマト、ワインと相性の良いものが揃っている。これらの連携が上手くいくことが北斗市の伸びしろではないか。

◆最重点基本目標を達成するために必要な視点 地域共生社会の実現やDX推進などの取り組みにより幅広い世代(=「ひと」)が集まり住み続けたいと思う魅力ある環境・ウェルビーイングな社会をつくる

- 総務部長よりP25、26の下線部を中心に説明

○民生部長より P 25、27 を説明

○質疑・意見等

(委員)

- ・窓口の業務の改善として、チャットボット(ガボット)の活用は考えているのか。
- ・活用には目標を年度ごと明確に定めるべきだと考える。

(市民部長)

- ・市内のDXプロジェクトチーム市民サービス部会において、市民サービスの向上、職員の負担軽減に取り組んでいる。令和7年度から、デジタルありきではなく何が課題なのか、業務の見直しとしてBPRを実施した。窓口業務ではコンビニ発行を促進し、市民サービスの向上に努めている。チャットボットの導入も検討しているところであり、今後も取り組みを継続していく。
- ・チャットボットの具体的な目標やスケジュールは定めていない。導入の可否も含めて検討していく。

(委員)

- ・コンビニ交付は所得証明書のほか、納税証明書も可能となるのか。

(市民部長)

- ・住民票、印鑑登録証明書のコンビニ交付数は、全体交付数の約20%である。所得証明書のコンビニ交付は令和9年2月の開始を予定している。コンビニ交付は3年後に30%の利用を目指していきたい。今後の拡充については、交付枚数の多さやニーズの高さを考慮しながら進めたい。

(委員)

- ・P27のスクリーニングの説明で、「ふるい分け」は良い表現とは言えないのではないか。

(会長)

- ・「見極め」と後ろに続いているため、「ふるい分け」を削除してもよいのではないか。

(民生部長)

- ・説明書きを修正する。

◆推進方策に関する評価・検証

○企画課長より P 36 から P 39 まで説明

○質疑・意見なし

(2)令和7年度国の地方創生交付金事業(トマト共選場の整備)について

資料：「トマト共選場の整備」

○経済部長より説明

○質疑・意見等

(委員)

- ・総合戦略内ではDXの推進とあるが資料では見受けられなかった。説明を聞いて、AIを搭載した最新の機械を別に導入することがわかったが、資料に加えてはどうか。

(企画課長)

- ・建屋と機械がセットになった全体像のわかる資料にする。

(委員)

- ・稼働率ほどの程度なのか。
- ・稼働していない時期は何か活用できないのか。

(経済部長)

- ・トマトが出荷される4月から11月は稼働するが、年間を通してではない。
- ・冬場は機械のメンテナンスもあるが、活用方法は検討したい。トマトをより知ってもらうため、共選場の見学やマルシェの開催を計画している。

(委員)

- ・令和9年5月から稼働する。出荷時期が早い森町のトマトも扱うことでロングランの出荷が見込める。新たな共選場の稼働はトマト生産者の所得向上にもつながるとして、JAとしても期待している。

(会長)

- ・市が考える今後の方針に基づき、進めていただくことでよいのではないかと。

(3)第3期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について

資料：「第3期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改正案)」

- 企画課長より説明
- 質疑・意見なし

3 閉会